

豊中の未来を描こう！！

発行 2012年 8月

VOL. 70

クールビスにも
限界がありますね
(汗)

豊中市議会議員
無所属・未来派

か ん ば ら こ う い ち ろ う

神原 宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～



関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

◆市立豊中病院の経営健全化を考える～行政、市民の意識改革が課題解消に！！～◆

少子高齢化、病気の多様化、医療技術の高度化、自治体財政の悪化、市民ニーズの高まりなど様々な要因が重なり、全国的に病院経営は厳しい状況にあります。特に公立病院は、地域医療のセーフティネットの役割を担っているとの考えから、民間病院のような制度改革や抜本的改革はあまり行われず、結果として、廃院や統廃合が行われ、医療崩壊が起きている地域も出てきています。市立豊中病院も減価償却費を含むと毎年、収支赤字を続けており、上述のような事態を招かないために、行政も市民も公立病院に対する意識、認識を変えることが必要だと思えます。以下に2つの事例を紹介します。

課題その① 長～い外来待ち時間

市立豊中病院の外来待ち時間は約80分と非常に長く、医師にも患者にも負担が大きいです。

(神原の提案)

外来の軽症患者に対し診療費に別料金を課すことで、地域の診療所の受診を促し、外来待ち時間の解消、重症患者の受け入れ強化を図ってはどうか。

「予約センター」を設置し、入院の予約や各診療科での次回受診日時の予約を一元的に行い、外来待ち時間の抑制、医師の診療以外の負担や業務の軽減を図ってはどうか。

市立豊中病院は二次救急医療機関です！！
検査が不要な場合や、薬の処方みの場合など、一次救急医療は、なるべく身近な診療所を受診する意識を市民が持つことで、市立豊中病院が本来の役割をより一層発揮でき、市民ニーズにも応えることが出来るはずですよ！！



公立病院でも経営感覚は必要です！！
公的機関であっても貪欲に収入増を図るべきで、院内にコンビニを設置することで、市民サービスは向上し、病院の増収にも繋がるはずですよ！！



課題その② 利用しにくい売店

豊中病院内の売店は、開店時間が短く、患者やお見舞いなどの訪問者の利便性が良くありません。

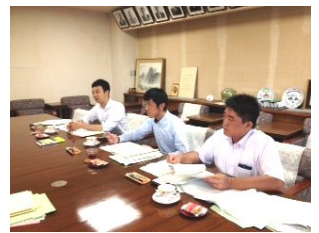
(神原の提案)

院内にコンビニを設置し、土日や祝日でも、早朝や夜遅くの時間帯でも利用できるようにすべきです。市立伊丹病院では、コンビニ設置による賃貸料と営業利益の一部を支払ってもらうことで、約1200万円/年の収入を得ています。

市民のみなさんは、市立豊中病院にどのような思いや印象、評価をお持ちでしょうか。今後の調査、研究、議会での議論に活かすため、是非とも、ご意見・ご提案をお聞かせ頂ければ幸いです。

◆ 会派視察報告！！～他市に学ぶ先進事例の数々～ ◆

色々な話を伺い、現場を見せて頂き、資料やネタをたくさん頂きました。習得した知識を出来る限り豊中市の施策に活かしていきたいと考えています。



～文書管理を見直し、業務効率UP！！～ 『ファイリングシステム導入』

＜千葉県我孫子市＞

従来の文書管理では、**文書の私物化**や**不要文書の氾濫**など様々な課題があったため、新たな文書管理システムをコンサルタントの指導のもとで導入されました。

【システムの導入効果】

- **業務の効率化及び執務環境の改善**
職員一人当たり約20分/日の文書検索に費やす時間が削減され、**職員一人当たり年間約83時間の削減**
- **職員の文書管理に対する意識の向上**
文書の私物化が減り、共有化が進む。
- **市民サービスの向上**
問合せや必要な情報提供など市民対応の迅速化

業務効率の向上、市民対応の迅速化、情報の共有化の促進、職務スペースの確保と整頓を徹底するため、豊中市でも導入すべきです！！

～共助による先進的支え合い事例！！～ 『孤独死ゼロ作戦』

＜千葉県松戸市常盤平団地＞

住民が孤独死して数か月、数年後に腐敗、白骨化して発見されるという痛ましい出来事が起こったことをキッカケに、地域ぐるみの取り組みを開始されました。

【実施事例】

- **孤独死110当番**
住民同士が互いの安否を気にし、異変を感じたら通報
- **あんしん登録カード**
孤独死など不測の事態に、団地社協が身内の人に連絡出来るように住民に提出してもらい、団地社協が管理
- **孤独死予防センター設置**

地域ぐるみでつながりを構築し、共助によって問題解決に取り組む住民意識の啓発と環境整備が急務です！！

～増加する空き家問題に対策を！！～ 『空き家等適正管理条例制定』

＜千葉県柏市＞

空き家や管理が適正でない建物の問題の増加に対し、昨年9月に議会提案により「**空き家等適正管理条例**」を制定されました。

【条例制定の効果】

- **相談窓口の一本化**
条例制定を機に、空き家等に関する相談窓口が一本化され、市民の利便性が向上
- **市内の空き家等の実態把握の推進**
市民からの相談や通報が増え、行政の市内の空き家実態の把握が進む。この一年で、197件の相談あり。

【制定後の課題】

- **公権力の行使に限界が…**
空き家が管理不全になることを防止する目的で施行されたことから、行政代執行などの公権力の行使はできず、所有者が特定されない場合や所有者が全く無関心の場合には、対応が手詰まりに。

個人の財産権と一般の公益性の関係を法的にどのように考えるのか検討が必要ですが、空き家対策を推進し、問題解決につながる制度や仕組み作りを条例制定も視野に提案していきます！！

視察のおまけ

～議場に採決表示システムの導入を！！～

今回視察した自治体の議会には、全て「採決表示システム」が導入されていました。

各議員の議席にあるボタンで賛否を表明し、議場のスクリーンに表示され、インターネット中継の画面にも表示されます。右の表とは別に、議員の名前が、青色(賛成)、赤色(反対)、白色(棄権)に応じた表も表示されます。

投票総数	9人
賛成	6人
反対	3人

賛成・反対・棄権など各議員の議案に対する態度を市民により明確に示すため、豊中市議会にも導入すべきです！！

発行元 前向きひろば ～Positive Square～

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2階
TEL & FAX: 06-6854-5664

平日(祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。
young_spiritjp@yahoo.co.jp

http://www.geocities.jp/positive_square/

Facebook 活用しています！！

「つながり日記」毎日HPで更新中！！

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。



前向きひろば 神原宏一郎 事務所

